

- 1) 当院における医療材料購入最適化プロジェクト(OPM-PJ)の効果
田中 聖人(京都第二赤十字病院 消化器科・医療情報室)
- 2) 資材業務における概念の一本化と継承の重要性
ー継続的かつ安定的な病院運営のためにー
山本 功二(社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院執行役員事務長)
- 3) 適正な使用管理への挑戦と医療材料が好きな職員の育成
行本百合子(医療法人東和会 第一東和会病院事務次長)
- 4) 病院情報システムと一体化がもたらす物流システムの効果
南里 忠広(社会医療法人財団白十字会 医療情報本部システム開発主任)、他
7. 「大災害からの復興と絆ー陸前高田市よりの発信ー」
10月13日(土) 9:00～11:00
A会場(アルカスSASEBO 1F大ホール)
- 佐世保ー岩手ライブシンポジウム
座 長：佐々木 崇(岩手県立中央病院名誉院長)
望月 泉(岩手県立中央病院院長)
小柳 左門(国立病院機構都城病院院長)
- 1) 東日本大震災における岩手県災害対策本部の医療対策について
秋富 慎司(岩手医科大学 高度救急救命センター助教)、他
- 2) 震災時いわて花巻空港SCUでの活動から、何か見えたのか！
木村 丘(岩手県立胆沢病院災害医療科長)、他
- 3) 東日本大震災・陸前高田市における日本赤十字社の医療救護活動
藤田 康雄(秋田赤十字病院救命救急センター)
- 4) 医療過疎地域での病院運営と大災害後の取り組み
石木 幹人(岩手県立高田病院院長)
8. 「総合診療医・家庭医の育成
ー地域医療活性化のため現状と課題を探るー」
10月13日(土) 9:00～11:00
B会場(アルカスSASEBO 4F中ホール)
座 長：香川 恵造(市立福知山市民病院院長)
松村 理司(洛和会音羽病院院長)
- 1) 地域医療における家庭医の役割：フクシマからの提言
葛西 龍樹(公立大学法人福島県立医科大学 医学部地域・家庭医療学講座主任教授)
- 2) 家庭医の育成ー岡山県での家庭医療後期研修の取り組みからー
松下 明(岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック所長)
- 3) 研修医教育による病院再生と地域医療・医師不足問題の改善
濱口 杉大(江別市立病院総合内科 北海道総合内科医教育センター長)
- 4) 地域基幹病院での総合内科医・臓器別専門医・研修医のバランスー家庭医療の経験あるスタッフとともにー
川島 篤志(市立福知山市民病院総合内科医長)
9. 「医療メディエーションの展開と可能性」
10月13日(土) 14:00～15:30
B会場(アルカスSASEBO 4F中ホール)
座 長：宮下 光世(国立病院機構長崎川棚医療センター 院長)
和田 仁孝(早稲田大学大学院法務研究科教授)
- 1) 医療支援とメディエーション
入田 和男(日本赤十字九州ブロック血液センター 品質部長)、他
- 2) 産科医療補償制度・原因分析の現状と問題点
海野 信也(北里大学病院副院長)
- 3) 大震災・津波とメディエーションマインド
伊藤 達朗(岩手県立大船渡病院院長)、他
- 4) 院内メディエーターは、患者(遺族)と医療者の架け橋になれるか
寺尾るみ子(NPO法人SIDS家族の会理事)
10. 「在宅ケアの未来:医療から福祉へ」
10月13日(土) 13:20～14:50
C会場(アルカスSASEBO 1Fイベントホール)
座 長：向原 茂明(長崎県庁福祉保健部参事監)
松坂 誠應(長崎大学大学院歯歯学総合研究科 保健学専攻理学作業療法学講座教授)
- 1) 大分県リハビリテーション支援センター活動を通して
佐藤 浩二(財団法人厚生年金事業振興団 湯布院厚生年金病院リハビリテーション部 部長)、他
- 2) 在宅復帰・地域医療連携力の向上の必要性について
竹内 嘉伸(南砺市民病院地域医療連携科 主任)
- 3) 地域包括ケアに向けた佐々町の取り組みー「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」そんな願いを叶えるためにー
江田 佳子(佐々町役場住民福祉課 地域包括支援センター係長)
- 4) 地域包括ケアに向けた取り組みー地域リハビリテーション広域支援センターの活動からー